入院診療計画書　　病名（　両　下肢静脈瘤　　）

患者氏名　　様　　治療（下肢静脈瘤除去術　）

経過	外来	/ 片側手術当日	片側手術翌日	反対側手術当日	反対側手術翌日
日時	（　/　）		（　/　）	（　/　）	（　/　）
達成目標	手術の理解ができる	不安なく手術をうけることができる 創からの出血がみられない 創の痛みが強くみられない	創からの出血がみられない 創の痛みが強くみられない	不安なく手術をうけることができる 創からの出血がみられない 創の痛みが強くみられない	創からの出血がみられない 退院後の生活に対する不安が みられない
治療 処置 薬剤	医師より指示のある薬は朝食後に 服用してください。 糖尿病の治療薬や血液をサラサラ にする薬を内服されている方は内服 可能かお知らせします。	手術に行く前に点滴を始めます。 点滴は終了後に抜きます 血圧や心臓の薬をお飲みの方は 医師の指示のもと飲んでください 手術後より足に包帯を巻きます 手術に行く前に点滴を始めます。	主治医の回診があります 回診時ガーゼ包帯からｵﾌﾟｻｲﾄ交換 包帯がゆるんだら巻き直しを 行いますので看護師にお知らせ ください	手術に行く前に点滴を始めます。 点滴は終了後に抜きます 手術後より足に包帯を巻きます 手術に行く前に点滴を始めます。	主治医の回診があります 回診時ガーゼ包帯からｵﾌﾟｻｲﾄ交換 包帯がゆるんだら巻き直しをします 主治医の許可のもと 退院可能です
検査	採血、出血、凝固時間の検査確認 ﾚﾝﾄｹﾞﾝ、心電図の確認	下肢の血管エコーの検査を行い、 手術部位に印をつけます。	下肢の血管エコーの検査があり ます。歩いて検査室にいきます。		下肢の血管エコーの検査があり ます。歩いて検査室にいきます。
安静度	制限はありません	ストレッチャーで手術室に行きます 手術前は制限はありません 手術後2時間は下肢をあげて安静 付添いで歩行可能です。	制限はありません ベッド上では下肢を~~挙げて~~ 休んでください	ストレッチャーで手術室に行き ます。術後2時間は下肢をあげて 安静にします。 付添いで歩行可能です。	制限はありません ベッド上では下肢を挙げて 休んでください
食事	普通食	朝：食事　昼：絶飲食　夕：食事	普通食	朝：食事　昼：絶飲食　夕：食事	普通食
清潔	入浴できます	手術前に入浴できます	入浴できません 体をお拭きします		入浴できません。体をお拭きします 術後2日目よりシャワーができます
排泄	歩行可能です	必ず手術の前までに排尿・排便を 済ませておいてください 付き添いでトイレ歩行可能	歩行可能です	必ず手術の前までに排尿・排便を 済ませておいてください 付き添いにてトイレ歩行可能	歩行可能です
教育 指導 説明	手術同意書、弾性ストッキングを 持参してください。	手術室看護師からの事前説明が あります。 手術の前には身につけている 貴金属をはずしてください （指輪、時計、入れ歯）	傷の痛みがあれば我慢せずに 看護師にお知らせください	手術室看護師からの事前説明が あります。 手術の前には身につけている 貴金属をはずしてください （指輪、時計、入れ歯）	傷の痛みがあれば我慢せずに 看護師にお知らせください 退院後の生活について 説明します 弾性ストッキングを履いて退院です
服薬指導	持参されたお薬の作用、副作用について薬剤師が説明を行います。　新しく薬が出た場合は、内服方法や作用・副作用について説明します				
栄養管理	あり　　なし				
観察	下肢の痛みやだるさ、むくみ、 手術に対しての不安がみられ ないか観察をしていきます	傷の痛みや出血、血圧変動、 徐脈、呼吸困難などが ないか観察をします	傷の痛み・出血がないか、 下肢のだるさ、むくみがないか 観察していきます	傷の痛みや出血、血圧変動、 徐脈、呼吸困難などが ないか観察をしていきます	傷の痛み・出血がないか、 下肢のだるさ、むくみがないか 観察していきます

退院後の治療計画

退院後指定された日に受診をしてください。

次回受診日：　　月　　日

退院後の療養上の留意点

退院後、次のような症状があったら
すぐに受診をしてください。
①下肢の痛みが強い
②下肢のだるさがとれない

日常生活、家事は普段通り行ってかまいません
・入浴は術後5日目から可能です。
・長時間にわたり立ち仕事をされる場合は、
足の血流をよくするために、1時間に1回は
足を椅子の上に乗せ、足の指でグーパーを
10回繰り返す、などの運動を行いましょう。
・弾性ストッキングは合併症の予防と痛みの
抑制をおこなうためです。入浴・就寝の時以外
は履いておいてください（3週間ほど）。
・自宅でも枕など使い下肢を高くし休んで
ください
・次回受診までシャワーのみ可能です。
＊一時的に下肢が腫れることがありますが、
長くても1か月ほどでひきます。

在宅復帰支援計画：退院後は（　自宅　・　施設　）に帰る予定となっております　　年　　月　　日

主治医：　野畑　一郎　　印

師長：

担当看護師：

本人または家族の承諾サイン：

【在宅復帰支援担当者】津田　黒田　【担当MSW】4階北(中村)　5階北(粟津)　3階南(中村)　4階南(香月)　5階南(黒田)

熊本セントラル病院

入院期間は現時点で予測されるものです　　病名などは現時点で考えられるもので今後検査などを進めていくに従って変わりうるものです

書式番号：5002-2020